

# Part 1

---

中学校の部

第3章

中学校での  
キャリア教育の実践  
(職場体験前と体験後)

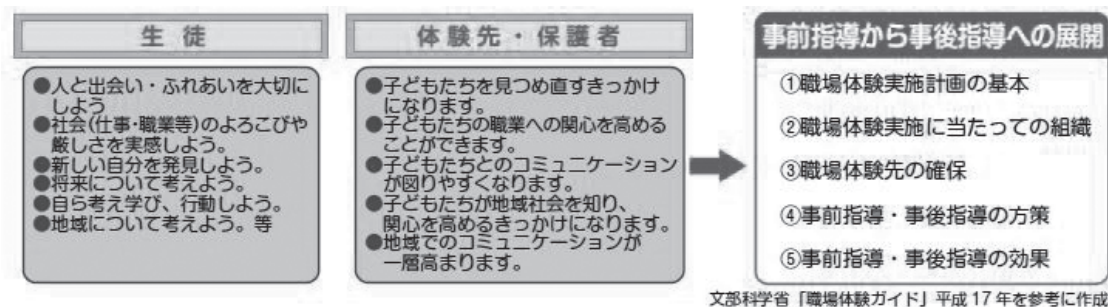
### 1 職場体験充実のための留意事項

#### ① 職場体験の基本的な考え方

- ・子ども・若者に自らの将来を考えさせるためには、学校内における教育活動だけでなく、具体的に多様な年齢、立場の人や社会や職業にかかわる様々な現場を通して、自己と社会の双方についての多様な気づきや発見を経験させることが効果的である。
- ・職場体験活動は、毎年繰り返されて行われている活動であるが、生徒にとってはその都度新鮮な体験となることを踏まえ、生徒の実態に即した創造性ある実践が求められる。
- ・実践に際しては、職場体験のねらいや目的を明確にし、生き方の指導を含めた事前・事後指導の充実、5日間の職場体験の実施等における質的向上を図る職場体験実施計画の立案が重要となる。
- ・職場体験の実践においては、保護者、体験先（事業所等）、職場体験支援組織等との連携や条件の整備が必要不可欠である。そして、各教科書、教育活動全体との関連を意図して計画的、系統的に実施されることが望ましい。
- ・中学校での職場体験が、上級学校におけるインターンシップや将来への職業意識の向上につながることを意図した教育活動となるよう、上級学校との連携も求められる。

（出典：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月）

#### 【各学校の職場体験のねらい（例）】



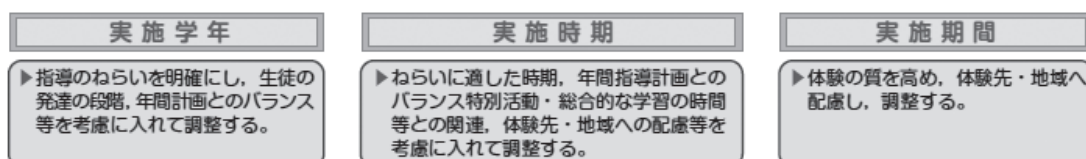
（資料出所：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月）

#### ② 職場体験実施計画の基本

- ・職場体験のねらいは、各学校の状況によって様々である。そのねらいを基盤にして、学校の教育活動への位置付け（実施学年、日程等）、地域性（体験先との連携）、事前・事後指導等を考慮し、実施計画を立案することが重要である。
- ・職場体験活動を一過性のものに終わらせるのではなく、将来の夢や職業、働くことなど、自分の生き方について考えることができるよう、キャリア発達を促進するという視点から3年間を見通した体系的な実施計画を立てて、実践していくことが望まれる。

（出典：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月）

#### 【職場体験の運営にかかわるポイント】



（資料出所：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月）

### ③ 事前指導・事後指導

(効果)

- ・職場体験活動を実施した効果としては、勤労観・職業観の芽生えによる職業や働くことへの関心が高まったことや、前向きに自己の将来を設計することができること、自らの意思と責任による進路選択ができること、積極的に人間関係を形成しようとする雰囲気が高まったことなどが挙げられている。これらの効果は、職場体験活動実施期間中だけでなく、事前・事後における指導の充実により得られるものである。

(方策)

- ・職場体験活動の事前指導では、特に生徒がその意義やねらいを十分に理解し、自分なりに目標をもって臨むことができるように指導することが大切である。
- ・事前指導は、事前学習と事前準備（直前の準備）とに分けて考えられる。
- ・事前学習では、職場体験のねらいを明確にし、自己の課題を発見することが重要である。
- ・事前学習において、事後の学習の内容を理解しておくことも大切である。事後指導では、生徒にとってお互いの体験が共有できるようにしたり、働くことの意義などを振り返り、再考し、明確化できるようにしたりして、指導内容・方法を工夫して進めることが重要であるが、事前学習が浅ければ、事後学習も浅くならざるを得ず、その後の学習へのインパクトも小さくなってしまう。このことから、事前学習を充実させることが職場体験の充実につながるとともに、キャリア教育の取組全体の充実につながっていく。

(出典：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月)

#### 【事前指導と事後指導のポイント（実施学年を2年次とした場合）】

##### ○事前指導

■事前学習	■事前準備（直前の準備）
<b>1年次からの進路指導</b> 進路学習全体にかかわる内容の学習 進路意識の向上、自他の理解、適性の理解 働くことの意義、職種情報の収集と理解、将来の設計	<b>1年次からの進路指導</b> 体験の内容に関すること 体験時間（開始・終了）、仕事の内容、持ち物、 交通手段、服装、昼食、諸経費、写真撮影の許可等
<b>ねらいや課題の確認</b> 職場体験先のねらいの理解、自分の課題発見 「あなたは体験先で何を学びたいのか？」 「体験先での自分の課題はなんなのか？」・・・ 職場体験のねらいや自分の課題を十分に理解させる	<b>安全・緊急対応の確認</b> 安全等に関すること 欠席、遅刻、早退等の連絡の仕方、緊急時の対応 保険、保衛衛生検査等の実施等
<b>課題解決に向けての調査内容の検討</b> 職場体験での調査内容の検討 質問事項、取材内容、方法、資料収集 活動日誌のまとめ方 職場体験や働くことへの保護者の意見	<b>社会性やルールに関する指導</b> 礼儀やマナーに関すること あいさつ、言葉づかい、声の出し方 連絡の仕方（電話のかけ方、訪問の仕方等） 手紙（礼状等）の書き方等
<b>事後の学習の理解</b> 事後学習の内容を理解しておく 評価の方法、まとめ方、発表会等	

(資料出所：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月)

## ○事後指導

■職場体験に関する直後の指導	■職場体験発表会に向けて
<p><b>職場体験記録のまとめ</b></p> <p>職場体験記録をまとめる 職場体験日誌、記録、ノート、しおり等 職場体験を全体の感想、職場体験の自己評価・相互評価、先生からの評価、保護者からの評価、体験先からの評価</p> <p><b>礼状作成（学校、生徒、保護者）</b></p> <p>生徒から体験先への礼状作成</p> <p><b>報告書の作成</b></p> <p>事後報告をまとめる</p>	<p><b>発表資料の作成</b></p> <p>発表資料の作成 新聞づくり、ポスターづくり コンピュータを活用したプレゼンテーション</p> <p><b>職場体験発表会</b></p> <p>職場体験の内容の発表 生徒間での体験の共有化</p>
■事後学習	■職場体験を終えて
<p><b>報告書等を持参しての事後訪問</b></p> <p>報告書、礼状（学校、生徒、保護者）等を持参しての事後訪問 職場体験の再評価</p>	<p><b>職場体験の総括</b></p> <p>職場体験全体を終えてのまとめ（事前、体験、事後を終えて） 次年度に向けての課題設定</p>

（資料出所：文部科学省「中学校キャリア教育の手引き」2011年3月）

## 2 職場体験を成功させるために生徒が理解すべきこと

事前・実施中・事後

- ① 職場体験の目的と自分の課題
- ② 体験及び体験先（受入れ事業所）の情報
- ③ 健康管理や安全管理上の配慮

## 3 職場体験を成功させるために生徒が実践すべきこと

事前・実施中・事後

- ① 社会性やマナーの観点
- ② 健康管理・安全配慮の観点

## 4 職場体験実施担当者が理解し、実践すべきこと

事前・実施中・事後

- ① 生徒指導の観点
- ② 体験先・地域との関係性の観点
- ③ 家庭・保護者との関係性の観点